

町田市議会
2025年
第1回定例会

補聴器購入助成

日本共産党
町田市議団

町田市でも4月から実現へ



- 市内在住の65歳以上の方
- 市民税非課税の方
- 医師（耳鼻咽喉科医）による診察と聴力検査の結果（原則として両耳とも平均聴力レベルが40 dB以上70 dB未満で

で、対象は、以下の要件をすべて満たす方
高齢者の加齢性難聴への補聴器購入補助制度は、2019年に日本共産党市議団が市議会ですばやく取り上げ、実施を求めてきました。さらに市民から、助成制度を求める請願が繰り返して出されてきました。ついに、その願いが実現し、新年度予算に「高齢者補聴器購入助成」が盛り込まれました。

共産党市議団 6年前から提案

町田市議会2025年第1回定例会が、2月20日～3月27日まで行われました。25年度一般会計予算に対して、日本共産党は田中耇穂市議が討論を行い、反対しました。また、共産党市議団が提出した「都議会自民党」の裏金問題の真相解明を求める決議は、自民党などを除く賛成多数で可決しました。市民から出された切実な要求実現や請願採択に積極的論戦を行いました。

「『都議会自民党』の裏金問題の真相解明を求める決議」賛成多数で可決！

詳しい制度内容はこちらのQRコードからご確認ください。
問い合わせ先
いきいき生活部 高齢者支援課
電話・042-724-2141



あること、補聴器の必要性があると認められた方
● 身体障害者手帳の聴覚障がいの対象とならない方
● 過去5年間にこの事業による助成を受けていない方
● アンケートへの回答と介護予防事業等への参加にご協力いただける方
補助額は上限3万円です。東京都が半分補助を出すのですが、その上限は14万4千9百円なので、さらに補助額を上げ、所得制限をなくすよう議会でも論戦していきます。

多摩26市の購入費補助の事例

自治体名	対象年齢	補助額上限
八王子市	65歳以上*所得制限なし	5万円
府中市	65歳以上*所得制限あり	4万円
三鷹市	18歳以上*所得制限あり	4万円
武蔵野市	65歳以上*所得制限なし	5万円

みなさんとともに実現 18歳までの医療費助成拡充・ 児童相談所設置へ

市民の皆さんと運動を進めてきた子どもの医療助成制度が、この4月から18歳未満まで所得制限が撤廃されました。義務教育を終えた高校生等（学校に通ってなくても、仕事をしていても）12000人すべてが対象になります。

また、6月1日から、山崎団地の一角に都立児童相談所がスタートします。2000年5月に町田市で起きた幼児虐待死亡事件以来、児童虐待防止の専門機関である児童相談所の設置は市民の悲願であり、党市議団も求め続けてきました。事件後、町田市が設置した子ども家庭支援センターも同じ場所に移転して、東京都と町田市がこれまで以上に連携して、子どもの命や安全を守り、子育て支援を行うこととなります。



6月開所の東京都町田児童相談所

24年度3学期から始まった、小中学校の給食費を第一子を含め全員無料にする予算が、盛り込まれました。
同時に、中学校は全員給食ではなく持参のお弁当か、申し込み式のランチボックスに限られていました。中学校給食センターが整備された地域から全員給食がスタートして、1月から鶴川エリア、4月から町田・忠生・小山エリアの各中学校に届けられています。食缶に入った温かい給食は汁物などメニューも多様で、子どもたちにも好評です。また、米などの食材費の高騰が、給食の質や量の低下を招くのではという心配もあります。共産党市議団の一般質問に対

給食費無料化と共に温かい 中学校全員給食実現！

南エリアの給食センターは建設工事の遅れにより、全員給食の開始は10月からになります。それまでの間、ランチボックスを給食として位置づけ、抽選で決定します。4月は、900食のランチボックスに約2100人が申し込み、抽選に漏れた生徒は給食費分が支給されます。給食センター工事が安全に進み、予定通り全員給食がスタートできるところを引き続き求めていきます。



町田忠生小山エリア中学校給食センターと献立



南エリアは10月から実施

し、教育委員会は1食当たりの食材費の引き上げを検討していると答えました。